

【所感】

長崎市議会議員 浦川 基継

ベトナム・ホイアン市、ミーソン聖域

1999年、世界遺産に登録されたミーソン聖域は、900年以上も前に建造された遺跡群でレンガを積み上げ、接着材となるモルタルのようなものは一切使っていない聖なる場所であった。

小雨の中での視察となったが、遊歩道、雨具など天候に配慮されていた。広大な為すべてを見て回ることはできなかったが、初めに歴史や伝統芸能、民族舞踊でのおもてなしもあり、どのような人々が生活していたのか感じることができた。

本市も伝統芸能を活かし、継承するためには仕事として成り立つ取組みも必要と感じた。

古都ホイアン視察

数日前に台風が来ており、道路、市街地は河川の氾濫等の影響もあり、町中が泥に覆われていた。しかし、多くの市民は復興と日常を両立したかのように生き生きと生活しているように感じた。また平均年齢も若い町とのことでバイクの交通量はすさまじく、2人乗りのバイクが多く、4人乗りするバイクも多くみられた。自動車に対する課税が高いため、バイクが移動手段となっているとのことだった。

御朱印船贈呈式事前準備等視察

贈呈式前日の準備、練習を確認する。本石灰町のねびき衆は暗くなるまで練習を行っていた。

御朱印船贈呈式

贈呈式では多くの関係者が出席し盛大に行われ、友好関係を構築できたものと感じた。特に「もってこい」の掛け声が市民に響いたものと感じる。

クアンナム省人民委員会表敬訪問・クアンナム省人民評議会交流促進に係る協議録署名式

クアンナム省と県との交流は順調に行っているものの、本市の交流はこれからであり、経済交流、農業分野での労働者、生産者の確保など魅力ある提案を聞くことができた。

特に若い世代が多いので、本市の経済発展には欠かせないものと判断する。本市の交流を加速させ、県の交流拡大と合わせ取り組むことで、本市の輸出、企業進出にも大いに寄与できるものと感じる。

ベトナム英雄の母モニュメントへの献花及び視察・被爆クスノキ2世苗木記念植樹

施設の規模は想像以上でベトナム戦争に対する戦争犠牲者とその母の思いを形にしたエリアとなっていた。悲しい話ではあるが、戦争がいかに人民を苦しめたのかが伝わってくる施設であった。このような場所に記念植樹できることは、核兵器廃絶のみならず、戦争がない平和な世界を恒久的に目指すうえで重要な聖地であると認識する。苗木が成木となるまでに世界恒久平和の実現に向けてさらに認識を深める機会ができたものと思う。

ホイアン市人民委員会表敬訪問・日本、ベトナム文化スペース落成式

ホイアン市にはかつて1,000人以上の日本人が居住していたため、日本人、長崎に対する深い愛情が感じられた。日本人町と日本橋を見るに日本の文化、風習が色濃く残る建物を見学しアニオー姫を通し、文化、産業の交流は他国と比べて時間を要しないのではないかと感じた。人民委員会の配慮により文化スペースは日本橋に向かう入口に設置されており、訪れる観光客に対してのアピールも高く本市への観光振興にも寄与できるものと判断する。

最後にベトナムクアンナム省、ホイアン市を訪問して、感じたものは災害にも負けない若い市民の活力が伝わるまちであった。特に台風水害のあとであったにも関わらず何事もなかったように生活している点は、今の長崎市にないものと感じた。本市とホイアン市の交流を御朱印船、アニオー姫の物語と合わせ早期に交流を拡大することで本市の市内経済活性化に寄与できるものと感じる。